

静岡県漁業協同組合連合会

1027 静岡市追手町9-18
15.1.24 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 焼津漁協水揚数量トップに

この程、全国主要市場の平成14年水揚高(概要)がまとめ、水揚量で昨年2位であった焼津が海外巻網の大幅な水揚増など全体で19.6%増となり2年ぶりに1位に返り咲きました。

一方、銚子は巻網のアジ、サバ、イワシが2割減となり2位に落ちました。また、福岡と八戸が入れ代わり3位、4位となり、釧路は5位に躍進しました。

水揚金額では、福岡が(871億円)で1.5%減少したもののトップを維持し、以下焼津(453億円)、長崎(445億円)、三崎(422億円)の順となり順位の変更はありませんでした。

なお、八戸が(285億円)で8位から6位にランクアップしています。

焼津の水揚数量は、前年比3万7,300トン(19.6%)増加しましたが単価安で金額は前年とほぼ同様でした。主要魚種水揚数量は、海外巻網船のカツオが11万1,900トン(前年比46.6%増)、キハダは1万9,176トンにとどまり前年比45.5%の大幅減でした。また、遠洋竿釣船を主体としたピンナガが4万253トン(50.9%増)、南方や東沖などのカツオが3万7,600トン(18.1%増)となりました。

海外巻網のカツオの数量増は、キハダが獲れなくカツオの漁獲が増えたことによるほか、鹿児島県内に加工用の輸入カツオが搬入されたことに伴い焼津入港船が増えたことが要因となり、また輸出に回る小カツオやP S品の水揚も多かったことによるものです。

2. 2003(平成15年)1~6月の漁海況予測

- 県水産試験場 -

県水産試験場では、このほど平成15年1月~6月の長期漁海況予測を次のとおり発表しました。

黒潮：九州南東沖の小蛇行の一部が12月後半四国沖を東進し、短期変動を起こす。1月後半~2月前半に九州南東沖で小蛇行が再発達する。この小蛇行は2月後半~3月に四国沖を東進し、3月後半~4月前半に室戸岬沖~潮岬沖で離岸傾向となる。

人工衛星による海面高度の不偏差域は93年と類似傾向を示し、この年は4月にB型、5月にC型となったことから2003年も、類似の経過となると考えられる。以上のことから、「1~3月はN型で推移し、4月にB型となり、5~6月はC型で推移すると予想される。

水温は、遠州灘から駿河湾では1~3月は「平年並」~「やや高め」、4月は「高め」、5~6月は「平年並」~「やや高め」。相模湾では、1~3月は「高め」基調の「平年並」、5月以降は「高め」~「低め」。伊豆諸島北部では、1~3月は「平年並み」~「やや高め」、4月は「高め」、5~6月は「低め」。

マサバ及びゴマサバ(伊豆諸島周辺海域のたもすくい網、棒受網漁業)：マサバ資源は低

水準にあり、産卵のため南下する来遊量は極めて少ない。ゴマサバは2、3歳魚と1歳魚が主体となり、その来遊量は前年を下回る。

漁期、漁場：マサバは漁場が形成される場合には伊豆諸島北部海域(ひょうたん瀬~利島~大室出し)となる。ゴマサバは三宅島周辺が主漁場となる。

魚体：マサバは漁獲があった場合には30~37cm(2~3歳魚)が主体となる。ゴマサバは主に32~36cm(2~3歳魚)と26~32cm(1歳魚)が主に漁獲され、後者はたもすくいでは、ほとんど漁獲対象とならないが、棒受網では高い割合で漁獲される。

マイワシ(遠州灘~相模湾の巻網漁業)：遠州灘~駿河湾では1、2歳魚共に前年を下回る。相模湾でも前年を下回る。漁期・漁場：遠州灘~駿河湾では2月以降、散発的な漁場形成となる。魚体：体長19~21cm(1~2歳魚)。

カタクチイワシ(駿河湾~相模湾の巻網)：来遊量は、駿河湾・相模湾共に前年並みか前年を下回る。漁期・漁場は駿河湾では5月以降、相模湾では散発的ながら1月から始まり期間中継続する。魚体は体長10~13cm(1~2歳魚)

3. 14年度安全指導講習会を開催

- 県遊漁船業協会 -

県遊漁船業協会(原 剛三会長)では、県との共催により遊漁船業の適正な運営を確保するため、会員の安全操業に関する知識の習得を図り海難事故防止と利用者の安全確保に努め、もって遊漁船業の振興発展に資するため、14年度安全指導講習会を開催することになりました。今回は、特に本年4月から「遊漁船業の適正化に関する法律」が改正されることに伴いその周知を図るため次のとおり開催されます。なお、受講者には協会より終了後受講済証が交付されます。開催日程、場所(対象地区) 1月30日(木)午後3時 下田市漁協(賀茂地区) 1月31日(金)午後2時 由比町中央公民館(清庵地区) 2月13日(木)午後2時 静浦漁協(富士・沼津地区) 2月14日(金)午後2時 土肥町総合会館(西伊豆地区) 2月18日(火)午後2時 伊東市漁協(熱海・伊東地区) 2月21日(火)午後3時 御前崎漁協(榛原・磐田地区) 2月25日(火)午後2時 浜名漁協(西部地区) 2月26日(木)午後2時 焼津漁協(静岡・志太地区)

4. 県T A C(漁獲可能量) 12月末漁獲実績を発表

県では、この程T A C対象5魚種の12月末現在の漁獲実績を発表しました。

それによると、マイワシがT A C数量10,000トンに対し343トンで消化率3.4%、マサバ及びゴマサバは同8,000トンに対し4,854トンで消化率60.7%、またT A C数量が若干量の魚種では、サンマ266トン、マアジ2,411トン、スルメイカ524トンとなりました。

5. 諸会議・日程 (1月28日(火)~2月10日(月))

- 既報分省略 -

1月30日(木) 漁青連 = 第1回シラス部会 (大井川町漁協)

1月31日(金)~2月2日(日) 県漁連 = えひめぎょれんパールフェア (県水産会館)

2月 7日(金) 県しらす船曳網組合 = 通常総会 (伊豆長岡町・ホテルサンバレー)